

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンの販売台数は、当店で前年同月の288%、会社全体でも144%と伸びている。単価は14万円ほどに下がっているが、割安であるためよく出る。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・前月、前年と比べて荷動きが明らかに良くなっている。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・来客数や客単価の変化には現れていないが、客は買物を楽しんでいる雰囲気になっている。会話も弾み、笑顔がみられる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・台風の来襲もなく、天候も順調で来訪客は増えている。愛知万博後の反動もなく、好調である。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・夕方からの来客数が増え、売場の商品を見ながらゆっくり買物する人が増えている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・愛知万博終了後、来客数は若干減少しているが、婦人服、婦人雑貨の売上が前年を上回るなど、店全体の売上も好調に推移している。 ・婦人服では、数年ぶりにスカートの売上が好調であり、ファッションの流れが大きく変化しつつある。そのため、ブーツの売上好調という波及効果もられる。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数、販売量とも徐々に増加している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・北海道物産フェアなど季節の旬の商品の催事に人気があり、商品の動きも良い。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・週末の天気があまり良くなかった割には、来客数は多い。晴天の日は前年同月を上回ることも多かった。平日は変わらないが、来客数は上向きである。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・一部のカテゴリーで前年と比較して増加している。衣料品販売も下げ止まりにある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・月の前半は新型車の発売とも重なり、非常に店舗に活気があり、客の流れも活発であった。ただし、後半は受注状況が下降線を描いている。全体としては、前年比100%以上の実績で締めることができている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・オフィス、工場などの民間工事、持家住宅の販売も増えている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日、週末ともに客数が回復してきた。販促イベントに対する反応も手ごたえが感じられる。愛知万博に流れていた客が戻ってきたと思われる。
		スナック（経営者）	単価の動き	・移転後の一周年記念を実施したが、電話やダイレクトメールで案内をしてスタッフも新しく増員したため、1週間でもかなりの客が来ている。月前半は暇だったが、1か月全体でみると売上は2、3か月前よりかなり増加している。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	販売量の動き	・愛知万博後の消費低下を懸念していたが、さほど影響もなく、順調な売上を維持している。
		都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・愛知万博閉幕後も、宿泊、レストラン、宴会ともに、客単価は予想ほど落ちていない。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・静岡県東部のリゾートホテルでは、愛知万博の開催中は客が流れたようで大変厳しい状況が続いていたが、閉幕後は回復基調にある。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・団塊の世代の退職を控えて、各方面で購買層の開拓などが始まっている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外旅行が好調で、中国をはじめアジアを中心に団体旅行の取扱も例年に比べ多い。
		通信会社（開発担当）	お客様の様子	・光通信回線の開通申込は、予測をやや下回るものの、順調に伸びてきている。
ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・9月は悪かったが、10月に入り急激に予約が伸びている。		
美容室（経営者）	それ以外	・例年と比べて、客のパーマの回数も増加し、やや良くなっている。		
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・愛知万博特需があった企業では特別ボーナスが出るなど、閉幕後は少し活気があるように思える。地元大手自動車メーカー系の来場者も多く、安定している。		

変わらない

一般小売店〔生花〕(経営者)	競争相手の様子	・商品値下げをする店があり、対抗策を考えざるをえない状況である。
百貨店(売場主任)	お客様の様子	・気温も下がり、秋冬物を本格的に購入する客がようやく増えてきたが、上下そろいでまとめ買いをする客はまだまだ多くない。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・愛知万博の反動減と気温の高止まりで、秋物全般に動きがみられない。
百貨店(経理担当)	販売量の動き	・品目によってばらつきがあり、景気回復の兆しが見えつつある品目もあれば、依然として低調な品目もある。全体としては変わらない。
百貨店(外商担当)	販売量の動き	・愛知万博も閉幕し、来客数はかなり戻っているが、気温のせいも購買意欲のせいか全体の売上は相変わらず低迷を続けている。今月も前年割れの状況が続いている。
スーパー(経営者)	お客様の様子	・近所に大型店が開店したため、動向がつかみにくなっている。
スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は相変わらず96%前後の推移であり、回復傾向はみられない。
スーパー(店長)	お客様の様子	・客の様子を見ていると、不要な物は買わない。必要な物は買うがそれ以外のものに目を向けることはない。
スーパー(店員)	販売量の動き	・週末の売上はそれなりであるが、平日の売上はそれほど良くない。チラシを入れた週末だけは、そこそこ良い。
スーパー(営業担当)	販売量の動き	・販売量は大きく変化していないが、在庫は多めである。前年比で客単価は上昇しているが、販売点数は若干減少している。 ・昨年は地元プロ野球チームの優勝セールが成功するなどしたが、今年は少し弱含みである。今月の平均気温の高めだったことも影響している。
コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・来客数は伸長しているが、客単価の前年割れは継続している。特売に対してのみ動きが良い。
コンビニ(売場担当)	来客数の動き	・愛知万博の閉幕後は、来客数が通常の3分の1に減っている。売上は通常時と変わらないが、マインドは冷え込んでいる。
衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・客単価、来客数とも依然として低迷している。
衣料品専門店(販売企画担当)	競争相手の様子	・同業他社が相次いで廃業し、当社には新しい客が流れているが、それでも注文量は驚くほど少ない。
家電量販店(経営者)	お客様の様子	・毎日客の様子をみているが、相変わらず慎重な買物が続いている。店の売上も微減が続いている状態である。
家電量販店(店員)	販売量の動き	・最近ようやく寒くなってきたが、冬物の動きは昨年より悪い。液晶テレビなどでその分をカバーしている。
家電量販店(店員)	単価の動き	・販売量は増加しているが、単価は低下している。
乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・幅広い価格帯に注文が入るようになり、客層も広がりをみせ始めている。しかし、月末1週間にマスコミで増税報道があり、それ以降は一気にマインドが冷え込んでいる。
乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・販売量の動きに大きな動きはないが、若干弱めである。
自動車備品販売店(経営者)	単価の動き	・今月も消耗品の売上は横ばいであるが、客単価は低下しており、難しい状況が続いている。車検なども全体的に下降気味で、苦労している。
都市型ホテル(スタッフ)	単価の動き	・来客数は増えているのに、売上は増えていない。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・愛知万博が閉幕し、近場の一泊旅行が増えると思っていたが、思ったほど来客数は増加していない。
タクシー運転手	単価の動き	・来客数は増えていないが、単価が5000円前後の中距離客が半年から1年前と比べて増えている。 ・客との会話では、最近良くなってきたという人と変わらないという人が半々である。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・大きな変化はないが、利益率が徐々に低下してきている。

観光名所（案内係）	それ以外	・子供や高齢者は元気であるが、その間の人たちが元気でない。	
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・入場者数は夏場と比べて回復してきており、売上はやや少ないが、6月ごろの水準に戻っている。	
美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話では、休みにレジャーやイベントに出かけている方が多く、まずまずの様子である。	
美容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。	
美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホームケアセットの販売キャンペーンが好調で、化粧品が通常よりたくさん売れるなど、販売量は増えている。	
理美容室（経営者）	来客数の動き	・このところ常連客の来店間隔が長くなっていたが、今月は平常に戻っている。	
その他サービス 〔パチンコ機器製造販売〕（エリア担当）	販売量の動き	・客単価は上昇しているが、来客数は減少しており、売上は変わらない。	
設計事務所（職員）	競争相手の様子	・個人の建築事務所では変わらないが、ハウスメーカーでは動きが活発である。年末にかけての個人住宅の注文は、昨年より良くなっている。	
住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・同業者の話では、単価が少し安めの物件から売れている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅の売行きは下降気味であるが、企業からの依頼工事は少し増えている。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・三河地区では、引き続き分譲マンション、戸建て住宅を含め、アパート、賃貸マンションの建設が堅調である。	
住宅販売会社（企画担当）	来客数の動き	・毎月決まった量のチラシを入れて客の反響をみているが、今月も通常と同程度の問い合わせがある。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・愛知万博閉幕後は駅関連の売店も暇になっている。ただし、愛知万博会場近辺の量販店などでは、売上はむしろ3か月前より増加している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・来客数が少し減少し、販売量も減少している。必要以外は買わない傾向が続いている。 ・会社関係の手土産が、今月に入ってから少ない。領収書を頼む客が極端に少ない。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・愛知万博特需がなくなり、売上はやや減少している。ただし、例年に比べればまずまずである。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・愛知万博が終わり商店街にも客が戻ってくると思っていたが、平日の来客数は意外と少なく売上も非常に厳しい。たまたま町内一帯のお祭りがありややばん回したが、全体としては昨年を若干下回る。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が低い。
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・ほんの一部の店ではにぎわっているが、ほとんどの店は悲鳴を上げている。
	スーパー（経営者）	競争相手の様子	・各社が販売不調のため、広告合戦になっている。その中で当店もやや悪くなっている。
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・酒類小売業界では、廃業が相次いでいる。このところ、100軒ほどあった同業者組合員のうち20軒が廃業し、夏過ぎから急速に増えている。
	コンビニ（エリア担当）	それ以外	・愛知万博が閉幕し、特需がなくなっている。ハイウェイカードの販売終了に伴う売上減少も大きく影響している。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・弁当などは500円以下の低価格商品が売れ筋で、高品質高価格帯商品も売れないことはないが、客単価の下落は顕在化してきている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・愛知万博後の反動か、販売量は全体的に落ちている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・販売量が減っていると同時に単価も減っている。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・今月に入って来客数はめっきり減っている。販売台数も昨年と比較してかなり落ち込んでいる。
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・中古車販売では、業界全体の動向も、当店の客の動きも良くない。当店の出品状況にオークション全体の相場も関係し、単価は安くなっている。

		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新型車の発表も年末までではなく、販売台数は昨年と比べて落ち込んでいる。7月までは店舗ノルマを達成できたが、8月以降は未達である。また、競合等により昨年より利益も落ちている。
		乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・愛知万博開催中は客に活気があったが、今は全体的に少し静かになっている。
		乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・10月に入ってから来客数はかなり落ち込んでいる。特に家族連れの減少が目立つ。それに伴い売上も平年並みを維持するのがやっとである。
		その他小売〔水産物卸売〕(経理担当)	販売量の動き	・販売量が落ち込んだ後、すぐに回復するかと思っただが、低迷したままの状態である。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・愛知万博閉幕後は、街全体が少し静かになっている。例年9月末は打ち上げなどの団体客があったが、今年は少なかったことから、来客数は減少している。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・愛知万博特需がなくなり、宿泊・宴会・レストランとも状況は良くない。ただし、前年同期比では10%ほど好調である。
		都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・愛知万博閉幕後は宿泊が減少している。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・大型スーパー内のテナントであるが、スーパーともども客の動きが少し鈍い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・愛知万博の開催中はホテル、駅などで大変な人の動きがあり、特に9月は早朝から客の予約が多数あった。帰りの客もタクシー乗り場で並んで待っているほど、大忙しであった。しかし、閉幕後は元に戻っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の街に人が出てこないため、タクシー利用客は減少している。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・新規加入が今期最低となっている。愛知万博閉幕後は、多少鈍ってきている。
		通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・客からの問い合わせ件数や注文件数が減少している。
		パチンコ店(店長)	単価の動き	・来客数は変わりはないが、客単価の低下がみられる。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・客の来店間隔は、1か月の人が2か月へ、2か月の人が3か月へ、3か月の人が半年へというように、長くなっている。
	悪くなっている	スーパー(仕入担当)	販売量の動き	・昨年同時期は地元野球チームの優勝セールで消費者の購買意欲が高まり、来客数、客単価とも前年同月をかなり上回っていたが、今年はその反動や愛知万博閉幕の影響もあり、売上をはじめすべての数字が前年を7~8%下回っている。
企業 動向 関連	良くなっている	行政書士	受注量や販売量の動き	・顧客先企業の出荷量が増加している。
	やや良くなっている	紙加工品〔段ボール〕製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の中では、自動車関連は好調であるが、食品関係はやや不調である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・主要取引先がだんだん良くなってきており、受注量、販売量とも5~8%増加している。
		窯業・土石製造業(社員)	取引先の様子	・外注先全般に活気が出てきており、従業員の増員に踏み切るところも出ている。
		電気機械器具製造業(企画担当)	それ以外	・周囲の状況も含めて、愛知万博閉幕後の反動も特にはない。
		輸送用機械器具製造業(総務担当)	取引先の様子	・同業他社も含めて、生産能力の限界近くまで操業している企業が増えてきている。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・年末に向けて、貨物は順調に伸びている。
		公認会計士	取引先の様子	・自動車関連企業が好調であり、不動産業、サービス業等も恩恵を受けている。 ・金融機関の融資が受けやすくなっており、借入過多で収益性の低い中小企業の資金繰りも多少安定している。

	その他サービス業〔ソフト開発〕(社員)	取引先の様子	・下期が始まっているが、仕事を選んでいる状況である。
	その他非製造業〔ソフト開発〕(経営者)	受注量や販売量の動き	・設備投資関連の企業は、特に大手自動車メーカー向けではどこも忙しい状況が続いている。ライバル社も非常に忙しく、仕事を引き受けきれない。
変わらない	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・出荷量が多いが、原料価格が高騰しており、価格転嫁を十分できていないため収益を圧迫している。
	金属製品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原材料高、燃料高等が続いているが、それに見合うだけの価格転嫁ができない状況が続いている。
	一般機械器具製造業(販売担当)	受注量や販売量の動き	・相変わらず、受注金額は生産能力以上の高水準を保っている。
	一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・原油価格が高騰するなか、LPGを燃料とした製品の開発や、韓国、中国等への営業活動がやっと芽を出し始め、受注は増加傾向にある。しかしその反面、ペアリングの入手難が続き、損益面ではもう一歩である。
	電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・国内販売はほとんど変化がない。ただし買い換え需要が主流になってきている。収益面では、米国向けの販売が堅調であることに加え、円安傾向から為替差益により、前年同月に比べて改善している。
	輸送用機械器具製造業(統括)	受注価格や販売価格の動き	・主力取引先が現在再建中であり、もうしばらく辛抱が必要である。明るい材料は少しずつ出てきているが、相変わらず価格等は非常に厳しい。
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・引き続き工事の引き合いは順調で、大手自動車メーカー向けのほか、地域産業の活性化につながる設備投資が順調である。
	輸送業(エリア担当)	取引先の様子	・年初より引き続き、トン当たり単価は前年比で1~2%低下している。
	金融業(従業員)	取引先の様子	・ここ1か月間の取引の様子は、例年と同じような流れである。
	金融業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・同業者間の競争は非常に厳しいものの、不動産や物の動きは堅調であり、それに伴う保険料収入も増えてきている。
	広告代理店(制作担当)	取引先の様子	・今までの実績と比べて落ち込んだものと、新企画により少し増えたものと、半々である。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・郊外住宅はいまだに値下がり状態が続いているが、中心部では土地取得の動きがみられる。
会計事務所(社会保険労務士)	取引先の様子	・ガソリン代が高値で推移しており、企業の経費は増加している。多少売上が増えても、利益には結びついていない。愛知万博期間中に中断していた工事が再開しているが、単価は相変わらず安い。	
やや悪くなっている	鉄鋼業(経営者)	受注量や販売量の動き	・受注量は10月に入って特に減少している。国内需要が見積も含めてかなり減っている。
	金属製品製造業(従業員)	取引先の様子	・相変わらず元請からの価格圧力が厳しく、同業社や取引先ともども厳しい状況に置かれている。
	輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・6月以降、輸送物量は前年実績をかなり下回っている。 ・軽油の大幅値上がりにより、荷主に対して運賃値上げを要請したいところであるが、逆に値下げを要求されたり他業者に移られる心配もあり、収益悪化に困惑しているのが実状である。
	輸送業(エリア担当)	受注価格や販売価格の動き	・トラック貨物の積込台数は増加している。しかし、高騰する燃料費をはじめ排気ガス除去費やリミッターの取り付け等による車両購入費分を、運賃へ転嫁できない状況である。
	会計事務所(職員)	取引先の様子	・病院の収益をみていると、高齢者向けの病院は横ばいに推移しているが、一般病院では患者数、収入共に減少傾向がみられる。
悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良く なっている		
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	求人数の動き ・愛知万博閉幕後も派遣依頼の増加傾向は続いている。特に製造業関連の派遣依頼が活発であり、人材が間に合わない状況である。

	人材派遣業（経営企画）	雇用形態の様子	・取引先である各種製造業では、技術者ニーズが堅調である。
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・正社員採用が増加してきている。派遣依頼では、単発の案件が増えており、恒常的な案件は減少している。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・地元大手自動車メーカーなど自動車関連の求人は依然好調で、パート、アルバイトや建設請負などの落ち込みをカバーし、求人全体では前年度を上回っている。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・10月に実施した転職フェアは製造業を中心に会場が一杯となるほどで、企業の正社員の求人活動は活発である。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・求職者の動きは例年と大差ないが、求人募集の動きが活発であり、有効求人倍率も1.57倍と高率で推移している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は3か月連続で上昇しており、9月は今年3月以来の1.2倍台となっている。新規求人数も、前年同月を2か月連続で上回った。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・派遣、請負が中心ではあるが、求人数は若干増加している。
	職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・求人の期間満了に伴う更新求人、新規求人もも増えている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・求職者数も求人数に近い推移で増加してきており、転職者数は前年比で40%前後増加している。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は2割強のペースで増え続けている。
変わらない	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・愛知万博の閉幕に合わせて、求人難にある三河地区の企業がかなりの求人を一斉に出したが、求職者数があまり増えず求人難は解消していない。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・金融業界を中心に積極的に派遣社員を採用している。また、恒常的に派遣社員を採用している企業に加えて、新規に採用する企業も増えてきている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・高齢の求職者が多いが、求人企業は若年層を求めているため、なかなかマッチングできない。
	求人情報誌製作会社（編集長）	求人数の動き	・中途採用の募集が予想以上に多い。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人、求職とも横ばいで推移しており、有効求人倍率も横ばい状態が続いている。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-